



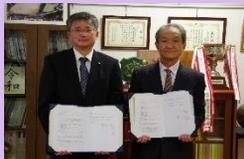
SSHレターズ

長崎県立大村高等学校
～自ら気づき、考え、行動する～

1巻/30号 2020/11/30

◆県内3大学と連携協定を締結しました

本校のSSH研究開発を通して高校教育・大学教育の活性化を図り、地域社会の発展と未来社会を創りゆく人材の育成に寄与することを目的として長崎総合科学大学、長崎ウエスレヤン大学、活水女子大学との連携協定を締結しました。これにより、学校設定科目「SS探究ⅡA～C」や理科部の研究活動等において、各大学の先生方や学生の皆様のご協力のもと、専門的な立場からのアドバイスをいただける環境を整えることができました。本校は全校生徒が、各自で設定したテーマに沿って課題探究に取り組んでいますが、今後その深まりが期待されます。



上段左
長崎総合科学大学学長 池上 国広 様
上段右
長崎ウエスレヤン大学学長 佐藤 快信 様
下 段
活水女子大学学長 湯口 隆司 様

◆第1学年全学科・SSH活動

11月12日(木)、第1学年では、終日SSH活動を実施しました。各自が希望する講座で、普段の教科書での授業では学ばない内容に、新鮮な気持ちで臨んでいました。また、4コマプレゼン発表会は、各クラス賑やかに実施されました。開講した講座は、次の10講座です。

番号	教科科目	講座内容
1	物理	測定値をもとにしたデータの分析と効果的な表現
2	化学	物質の分離とその確認
3	生物	手羽先の骨格標本の作成
4	地学	大村の地形と地質～防災の視点を交えて～
5	数学	折り紙と数学
6	情報	大村市の人口減少対策を考える
7	英語	英単語の語源とカタカナ英語について
8	英語	コロナウイルス：疫学入門と感染防止対策
9	国語	小説(ショートショート作品)の分析・創作
10	地理歴史	大村の歴史～大村純忠に注目する～

◆科学英語プレゼン発表会(数理探究科2年)

11月18日(水)、数理探究科の2年生が科学英語プレゼン発表に取り組みました。これは生徒たちが取り組んでいる課題探究の成果を英語でポスター発表するというものです。講師はALTなど4名のネイティブスピーカーと本校英語科の教員が務めました。1年前、先輩の発表を見ていたときはできるかどうか自信なさそうだった2年生でしたが、この1年間でたくましく成長し見事なプレゼンを披露しました。今回の経験は生徒たちに大きな自信と達成感をもたらしたことと思います。今回、2年生のプレゼンを見た1年生も来年は今年以上のものを作り上げていくことと思います。お忙しい中、本校生徒のためにご協力いただきました講師のALTの皆様、大変ありがとうございました。



英語でのプレゼンのようす

◆県科学研究発表大会にて快挙達成!!

11月27日(金)、長崎県科学研究発表大会の審査が行われ、本校理科部の2年生2班が生物部門と物理部門で最優秀賞をアベック受賞しました。

最優秀賞を受賞した河原 正堂さんと太田 誠也さんの研究は、「環境省絶滅危惧Ⅰ類に指定されているオキヒラシイノミガイの新生息地を発見したこと」「独自指標の開発と粘り強い調査によって繁殖期を特定したこと」等が高く評価されました。同じく最優秀賞の本村 かなさんの研究は、「着眼点・発想が独創的で過去にない研究であった点」「科学的な探究方法に沿って論理的に展開されている点」等が高く評価され、今回の受賞につながりました。3名は、九州大会に加え、来年7月に和歌山県で開催される全国高等学校総合文化祭へ推薦されることになりました。

川田 匠人さんは1年生ながら優秀賞を受賞し、九州大会へ推薦されることになりました。

最優秀賞	河原 正堂 さん 太田 誠也 さん	大村湾オキヒラシイノミガイの生息
最優秀賞	本村 かな さん	なぜ落ち葉は裏向きが多いのか
優秀賞	川田 匠人 さん	大村湾におけるマイクロプラスチックの分布